

杉並農人

Suginami Nōjin

第12号



杉並は農家が素敵だ。

杉並には、地域の人たちとの「ふれあい」を大切にする農業者がいます。

学校給食に新鮮な地元野菜を届けて子供たちの「食育」に一役買い、

収穫体験などを行って都市農業の「今」を伝えています。

農産物直売所や即売会では、自慢の品を威勢良く販売する声を響かせています。

杉並区の農地面積は、23区内で5番目の広さとなります。

都会でがんばる杉並の農業者を“杉並農人”と呼び、紹介してまいります。

杉並区の農業 DATA

・農家戸数：135戸 ※平成31年4月現在

・農地面積：41,997㊦ ※平成31年4月現在
(419,900㎡) ※農地のある区部11区で5番目の農地面積
※野菜・果樹の他、植木・切り花等の栽培も多い

・野菜の生産量ベスト3
(平成29年産)

1位 トマト …………… 89トン(89,000kg)
2位 ダイコン …………… 84トン(84,000kg)
3位 ナス …………… 78トン(78,000kg)

・果物の生産量ベスト3
(平成29年産)

1位 柿 …………… 11トン(11,000kg)
2位 キウイフルーツ 5トン(5,000kg)
2位 栗 …………… 5トン(5,000kg)

仲間とともに切り開く、「杉並野菜」の未来

無農薬、減農薬で旬の野菜を育てる

宇田川泰伸さんは、宮前2丁目で営農する若手の野菜農家だ。約32.5アールの農地で、年間約40種類の野菜を栽培している。五日市街道からほど近い畑に一步入ると、のびのびと外葉(そとば)を広げたブロッコリー、キャベツ、プチヴェールの濃い緑の畝(うね)が並び、その合間にニンジン、大根等の根菜類、下仁田ネギ、ルッコラ、芽を出したばかりのコマツナなど、多品目の野菜が生き生きと育っていた。

「カブやカリフラワーも、旬の時期は採れたてを生で食べるのが最高ですよ」と、宇田川さん。その日に収穫した野菜は、畑に併設した直売所のほか、区内の即売会、J A 東京中央が運営する「ファーマーズマーケット荻窪」で販売している。平成30年からは、区内の若手農業者で作る団体「杉並区グリーンクラブ」の会長(任期2年)を務め、同世代のリーダーとして頼りにされる存在になっている。

また宇田川さんは、杉並区内で9名が認証を受けている「東京都エコ農産物認証生産者」(*)の一人。ナスの根本に防虫効果があるとされるマリーゴールドを植えるなど、畑の随所に無農薬、減農薬で野菜を生産する工夫が凝らされていた。

※東京都エコ農産物認証生産者:化学合成農薬と化学肥料を削減した農産物を生産する農業者を都が認証する制度(区内の認定者数は令和元年11月現在)。

一棟のハウスと、農業仲間が人生を変えた

宇田川さんは、高校、大学とラグビー部で活躍。卒業後は建設関連会社の社会人チームでプレーし、ラグビーに情熱を傾けていた。選手当時のポジションは背番号4番、5番のロック。一抱えあるズシリと重い白菜も、宇田川さんの手にかかると小さく見えるのもうなずける。代々、宮前地域で農業を営む家に生まれたものの、農家を継ぐ気はなかったという宇田川さんだが、ラグビー



アメリカ文化が大好きという宇田川さん。1940年代のハーレー・ダビッドソンや、ビンテージ・カーを乗りこなす。



直売所に野菜を補充。冬は葉野菜、夏は朝採りのエダマメやトマトが大人気で、早い時間に売り切れることも多いという。



ナスの根本に防虫効果があるローズマリーを植え、農薬を減らしている。



宇田川 泰伸

昭和44年、宮前で代々続く農家に生まれる。高校、大学とラグビー部で活躍後、建設関連会社の社会人チームに所属。選手引退後の平成13年、父・勘蔵さんの後継者として就農する。現在、勘蔵さん、母・千鶴子さんとともに約32.5アール(3,250㎡)の農地を営む。年間約40種類の野菜を育てている。東京都エコ農産物認証生産者。杉並区認定農業者。

直売所:杉並区宮前2-6-2

※8時~売り切れまで営業。年始休業。
百円玉使用のコインロッカー式。

ンを引退し次の人生を模索していた時、父・勘蔵さんの勧めを受けて、平成13年、32歳で就農した。

「当時は、父の指示通りに作業するだけ。農業のいろはもわからず、不安でした」と振り返る。就農して3年目、そんな息子の葛藤を察した勘蔵さんから一棟のビニールハウスを任せられ、初めて自分ひとりでトマト栽培に挑戦。その経験が、宇田川さんの農業に向かう姿勢を変えたという。「トマトは手がかかる野菜。種苗会社の研修を受けるなど必死で勉強し、毎日ハウスの中で作業にかりきりでした。初収穫したトマトを買ってくれたお客さんに「美味しかったよ」と言ってもらえた瞬間、農業を続けていきたいと心から思いました」。

また、杉並区グリーンクラブの仲間からの親身な営農アドバイスが、宇田川さんを支えたそう。「農業は自然相手体力勝負の仕事。今年も台風で万願寺トウガラシが二度も倒れたり、丹精こめた露地栽培のナスが強風でこすれたり。そんな中、励ましあえる仲間存在は宝です」と胸を張る。

夢は「杉並野菜」のブランド化

平成30年、宇田川さんは農地の拡大を盛り込んだ営農計画を作成し、杉並区認定農業者の認定を受けた。「レモン、温州ミカン、スイートスプリングの3種、計30数本の柑橘類を植樹する予定です。今度は無農薬、減農薬の果物に挑戦してみたい」と新しい畑の予定地を案内してくれた。

今、宇田川さんには、安全・安心で食味にこだわった農産物を区内で安定的に提供し、ゆくゆくは「杉並野菜」というネーミングでブランド化したい、という夢がある。そのための当面の目標として「同世代の仲間たちと、即売会や自分の畑の直売所を活用し、「杉並野菜」の存在を区内で積極的に伝えていきたい。作り手が対面で、野菜の食べ方や美味しさを紹介するのが都市農業の醍醐味(だいごみ)です」と語る。

「声かけが実って、来年度は数名の新会員がグリーンクラブに入会してくれることになり、うれしいです」と、宇田川さん。日焼けした力強い笑顔が頼もしかった。

若手農業者がつくる!野菜の宝船



令和元年度杉並区農業祭で飾られた宝船「すぎなみ丸」

いきいきとした野菜がうず高く積まれた宝船。毎年11月、すぎなみフェスタと同時開催される「杉並区農業祭」の会場に飾られ、ひととき目を引いています。この宝船を制作しているのは、若手農業者の団体「杉並区グリーンクラブ」のメンバー。例年、総重量1トン以上の野菜を用い、七福神の絵に描かれている宝船をイメージして作っています。

令和元年度会長の宇田川泰伸さんは、「各自が畑で生産した野菜を持ち寄っています。中には宝船用の野菜を特別に育てているメンバーも。材料調達のため、前日まで“白菜が足りないから10個頼む”と電話で調整し合ったり、ブロッコリーの生育が不良な年には急きょカリフラワーに替えるなど、その年の収穫状況により工夫しています」と話します。宝船の野菜とオブジェに使った花は、農業祭の最終日に「宝分け」として配布され、毎年大好評。今年は先着順で合計290名に配られました。ぜひ来年の秋には、会場で勇壮な姿の宝船を見て、「宝分け」の野菜や花を楽しんでください。

MARKET SCHEDULE 2019

杉並産の野菜を食べてみたいと思ったら!



直売所以外でも、即売会などで杉並産の農産物を買うことができます。ぜひ足を運んでみてください。



開催日	イベント名	場所	販売農産物	問合せ先
毎週火曜日	JA東京中央杉並中野支店即売会	JA東京中央杉並中野支店前 (桃井2-3-4)	野菜・草花	ファーマーズマーケット荻窪 TEL. 03-5349-8791
毎週火曜日	FikaFika永福町店即売会	FikaFika永福町店 (和泉3-8-18 永福和泉地域区民センター1F)	野菜	ファーマーズマーケット荻窪 TEL. 03-5349-8791
毎月第3土曜日	座の市	座・高円寺 (高円寺北2-1-2)	野菜	座・高円寺 TEL. 03-3223-7500
毎週火～土曜日	ファーマーズマーケット荻窪 杉並産農産物販売コーナー(常設)	ファーマーズマーケット荻窪 (阿佐谷南3-13-2)	野菜・草花・加工品	ファーマーズマーケット荻窪 TEL. 03-5349-8791

この他、詳細未決定の即売会がありますので、随時、『広報すぎなみ』、杉並区公式ホームページ又は直前の即売会等でご確認ください。

※ Fika Fika永福町店での即売会は、収穫状況等により、開催できない場合がございます。

宝船「すぎなみ丸」が、できるまで

杉並区農業祭を2日後に控えた令和元年10月31日、桃井原っぱ公園にメンバーが集まり、宝船作りが行われました。



船の帆は長ネギで作ります。余分な葉や根をカットするのに、包丁ではうまく切れなかったため、機械を利かせてカッターを使用しました。



作業は午前10時スタート。まずは持ち寄った野菜をチェック。ひもで固定しやすいように、ブロッコリーやカリフラワーなどは茎が長い状態で用意。



船の土台作り。白菜や大根、キャベツなどの大物野菜を積み上げ、ジャガイモ、サトイモ、サツマイモ、冬瓜などを「あんこ」として詰めます。



一個だけあったカボチャをどこに置くか相談中。設計図は特に無く、デザインは毎年その場で決めていきます。



宝船の両脇を美しく彩る花のオブジェも、杉並区グリーンクラブが制作しています。



全員の力を結集!「ONE TEAM (ワンチーム)」でがんばりました!

制作開始から約4時間。今年も立派な宝船と花のオブジェが完成しました。



杉並農人 第12号

令和元年12月

企画：杉並区

制作：NPO 法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー

協力：杉並区農業者（JA 東京中央城西生産部会、JA 東京中央城西地区青壮年部、JA 東京中央杉並中野生産部会、JA 東京中央杉並中野地区青壮年部、井草園芸研究会、高井戸花卉研究会、杉並区グリーンクラブ）、JA 東京中央、杉並区民の皆さん

◎お問い合わせ

杉並区産業振興センター都市農業係 〒167-0043 杉並区上荻一丁目 2-1 Daiwa 荻窪タワー2F TEL：03-5347-9136

参考：杉並区発行『ふれあい農業すきなみ 農産物直販マップ2019』

※杉並区 HP でも公開しています。「直販マップ」で検索してみてください。